

氏名	浜野 隆 HAMANO Takashi
所属 職名	人間文化創成科学研究科人間科学系 准教授
学位	教育学修士（名古屋大学：1991年）
専門分野	教育開発学・比較国際教育学
URL	<a href="http://researchers.ao.ocha.ac.jp/4222451594.html">http://researchers.ao.ocha.ac.jp/4222451594.html</a>
E-mail	<a href="mailto:hamano.takashi@ocha.ac.jp">hamano.takashi@ocha.ac.jp</a>

## 研究者キーワード / Keywords

教育開発  
比較教育  
開発途上国  
国際協力  
国際機関

educational development  
comparative education  
developing countries  
international cooperation  
international organization

## 主要業績

浜野隆「義務教育制度の弾力化と質保証 ?ベトナムの事例?」『比較教育学研究』第41号、63-77頁、2010年

Takashi Hamano, 2010, Trends in Early Childhood Education in Vietnam &#8212; The "Socialization of Education" and the Management of Disparity, [http://www.childresearch.net/PROJECT/ECEC/asia/vietnam/report10\\_01.html](http://www.childresearch.net/PROJECT/ECEC/asia/vietnam/report10_01.html)

浜野隆・垂見裕子監訳、『疎外された人々に届く教育へ』JICA/JNNE/ACCU、2010年

Takashi HAMANO, 2011, The Globalization of Student Assessments and Its Impact on Educational Policy, Proceedings: Science of Human Development for Restructuring the "Gap Widening Society", 13, pp.1-11

Takashi HAMANO, 2011, The Education Policy Agenda and Education Research in Africa : Concerning Mainly Primary Education, Proceedings: Science of Human Development for Restructuring the "Gap Widening Society", 13, pp.13-18

## 研究内容 / Research Pursuits

1. 学力と教育政策 近年、日本においても学力調査が幅広く行なわれるようになってきており、また、その結果に対応して政策立案がされる傾向にある。学力調査の意味や解釈、政策との関連について検討を行っている。2. 初等教育における住民参加と格差に関する研究 本研究では、初等教育における住民参加（ベトナムではそれを社会全体での教育支援という意味で「教育の社会化」と表現している）の現状はどうなっているのか、また、教育格差との関係はどのようなになっているのかを検討している。3. 保育・幼児教育分野における国際協力に関する研究 国際協力の場において、幼児の発達や幼児教育は1990年代から重要な領域として注目されるようになってきている。本研究では、開発途上国における幼児教育の現状分析と政策課題について、国際協力のあり方も含め検討している。

1. Assessment of Academic Achievement and Educational Policy Assessments of academic achievement are widely conducted in recent years and the educational policy tend to be made based on the result of the assessment. In order to make the policy to be e

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

1. 学部 学部段階における教育内容としては、以下の様なものがあげられる：?教育開発概論、?比較教育演習、?教職概論、?教育原論（制度・社会）の「制度」に関する部分（教育行政）。他大学においては国際協力論・地域と世界の共生（武蔵野大学）を担当した。2. 大学院 大学院の授業においては、学生たち自身の研究テーマの報告、及びそれに関する討論を多く行った。共通文献としては、"EFA Global Monitoring Report"の最新版を読んだ。近年、国際協力において教育分野での協力が重視されるようになってきている。教育開発に関する授業においては、途上国の教育の現状、国際機関の役割、日本の協力のあり方などを多くとりあげた。

1. Undergraduate course Classes given in Ochanomizu University during 2010.4-2011.3 are as follows, (1) Introduction to Educational Development, (2) Seminar: Comparative Education, (3) Introduction to the Teaching Profession, (4) Educational Administration

## ■ 研究計画

1. 教育格差、とくに学力階層差・学力格差に関する研究 2. 幼児教育・早期子ども発達（ECD）分野における理論的・実証的分析、国際協力の効果分析 3. 教育開発、国際教育協力のあり方をより具体的に検討する。4. 発展途上国、特にアジア・アフリカにおける国際機関・国際援助の役割。援助理念・政策と現実との関連 5. ベトナム・カンボジア等における初等教育および就学前教育の構造の解明。6. 教師教育に関する実証研究および国際協力手法の検討。

## ■ メッセージ

グローバリゼーションが進む今日、教育学・教育科学は必ずしも日本の教育のみを対象にするものではなく、ますますあります。教育を考える際にも、グローバルな視点が求められつつあります。私が専門とする「教育開発」は、教育学の中では新しい領域です。「教育開発」はこれまでに培ってきた教育学の知見を発展途上国など海外の教育改善に活かしていくという、きわめて実践的な学問領域です。日本からの援助や提言が、発展途上国の教育政策や教育内容・教育方法の変容をもたらすこともあります。また、途上国の教育について考えること、途上国に日本の教育経験を伝えていくことは、日本の教育経験を相対化する（振り返る）契機にもなります。世界の人々とともに教育問題を一緒に考えていきたい人におすすめです。